

昭和中だよい

令和6年3月12日
第12号
文責：
秋元 秀文



令和5年度 目指す学校像

「生徒の主体性が尊重され、生徒・職員ともに心を寄せ合い、感謝し合える学校」
教育目標：英知・敬愛・鍛錬 校訓：「凡事徹底」「フラス思考」

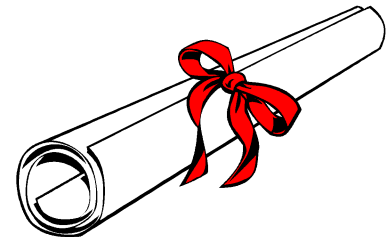
祝卒業

55人の3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。卒業式の式辞でも触れることですが、今年の青色の学年は、入学する前から新型コロナウイルス感染症の影響を受けていました。友達や先輩、先生方との人間関係作りが重要となる入学後の中学校生活も、例年にないスタートになったと思います。

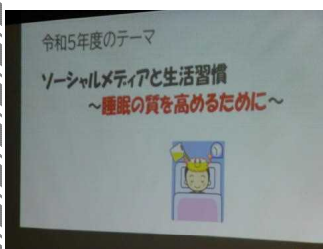
1年生の時の校外学習は、川越や東京方面に行くことができず、県内の富岡方面だったと聞いています。本来、楽しく会話しながら、友達との仲を深めるお昼ご飯も、黙食の約束をきちんと守っていたことは、とても立派だったと思います。しかし、せっかくの機会を奪ってしまったのではないかと、当時関わっていた先生方は、心配していたそうです。

この青色の学年は、最後の最後まで、新しいこと・前例のないことに挑戦する宿命を背負っていました。公立高校の入学試験が、前期後期の2回実施から、統合されて1回になりました。合格発表も、卒業式の前になりました。これだけでも、大きな変化です。校内においては、卒業式の並び方を、例年1組が男女とも前側、2組が男女とも後ろ側という形から、1組右側2組左側に変更しました。入退場から、全てが初めての形です。不安に感じることもあったともいますが、よく対応してくれました。

そんな皆さんとの、別れがやってきました。卒業生の皆さん、保護者の皆様、本当にありがとうございました。



『学校保健委員会』(2/29)



第3回学校保健委員会が、保護者の皆様にも参加していただき、開催されました。今年度のテーマ「ソーシャルメディアと生活習慣」について、活動のまとめの発表がありました。冬休み生活チェックカードのまとめから見ると、起床が7時を過ぎてしまった日が3日以上あった人が半数以上の学年がありました。生活のリズムを、自分で作り上げることが大切だと感じました。

また、来年度のテーマについても話し合いました。参加した生徒や保護者の方の意見として、「感染症にかからないために免疫力をあげること」「メンタルヘルスやストレスとの付き合い方」等が、挙げられました。貴重な意見をたくさん聞くことができ、有意義な時間となりました。参加していただいた皆様、お忙しい中ありがとうございました。



『卒業祝い給食』(3/8)



3年生の卒業を祝うために、毎年給食センターの皆さんが、工夫を凝らして特別なお祝い給食を作っています。今年は、写真のような献立と、デザートになりました。当日は、盛り付けの手伝いに給食センターから、栄養教諭の鹿内先生と、調理師の堀さんの2名の方が来校されました。代表の鶴渕美月さんが、9年間のお礼を伝えた後、皆でおいしくいただきました。地産地消ということで、イチゴについては、昭和村で作られたものを使用したそうです。中学生になっ



も、唐揚げは好評のようで、しっかり献立に組み込まれていました。卒業後は、お弁当生活になる生徒が多いようで、給食の存在をしみじみ感じていました。みんなで食べるからこそ、おいしいのでしょうか。また、いつの日か、みんなで集まって食べられたらいいですね。

『3年生を送る会』(3/11)



月曜日の朝の生徒集会は、3年生を送る会となりました。生徒会本部の企画で、各部活動の1・2年生が、それぞれ1分程度のお祝いメッセージを撮影しました。撮影期間が短い中にも関わらず、各部とも、工夫を凝らした内容でした。中学生の創造力

は、実に見事なものであることを、改めて感じさせてくれました。演奏した吹奏楽部をはじめ、ボールを使って特技の一環として表現した部もあれば、グラウンドの水たまりを活用した野球部まで、その部活動らしさがあふれた映像作品ばかりでした。

最後に、全校生徒で集合して、記念写真を撮影しました。2階の卓球場から見下ろすと、全校生徒が集まっても、こんな感じなのです。少なくなりましたね。



『3. 11』に寄せて

昭和中学校では、先生方と相談し、全校生徒で黙祷をすることになりました。帰りの会終了後、教室に待機してもらい、私の放送に合わせて1分間、行いました。昨年は、土曜日。一昨年は卒業式となっていたので、全校での取り組みは3年ぶりになるのでしょうか。

13年前といえば、私は昭和中に来て最初の年で、3年生の担任で卒業式の当日でした。実は、自分の娘も中学の卒業式だったので、担任の仕事を終えた後、すぐに家に帰って家族で食事に出かけるべく準備をしていたときに、大きな揺れが来たことを覚えています。その娘は、福島の人と結婚しました。当時の話は、決して聞かないようにと、娘に言われています。

1分間の黙祷の間に、生徒達はどのようなことを考えていたのでしょうか。ご家庭でも、折に触れて話し合ってみてください。記憶を風化させないことも、大切なことだと思いますので。